

# 令和6年度 9月補正予算

※1万円単位で端数処理しています。

一般会計補正予算額 9,376万円 (補正後予算額336億6,977万円)

## (歳入)

国庫支出金	1,482万円
県支出金	583万円
繰越金	4,901万円
市債	2,410万円

## (歳出)

総務費	725万円
民生費	1,972万円
農林水産業費	98万円
土木費	5,746万円
教育費	100万円
災害復旧費	735万円

## (歳出の内容)

【総務費】	文書管理事務運営費	473万円
	交通安全対策事業	252万円
【民生費】	介護基盤等整備促進事業	1,764万円
	生活保護運営費	208万円
【農林水産業費】	用排水施設維持管理費	98万円
【土木費】	道路橋梁維持補修費	2,229万円
	交通安全施設管理費	130万円
	排水路維持管理費(土木管理課)	324万円
	内水対策関連事業	2,799万円
	都市公園等管理事業	264万円
【教育費】	管理運営費(図書館)	100万円
【災害復旧費】	台風13号による用排水路施設災害復旧事業	735万円

## 公営企業会計補正予算額

農業集落排水事業会計	△9万円(特例的支出)
------------	-------------

問合せ 財政課(4階) ☎(20)1517 FAX(20)1603

## 10月は3R推進月間です!

毎年10月は環境省が定める「3R推進月間」です。「3R」は、循環型社会づくりを目指し、ごみを減らすために心掛けるべき3つの大切な取り組みです。

環境のために、できることから始めましょう。

### ◆3Rとは?

**Reduce(リデュース)**  
ごみの発生、資源の消費を  
もともと減らすこと

**Reuse(リユース)**  
繰り返し使うこと

**Recycle(リサイクル)**  
資源として再び利用  
すること

どれも重要な取り組みですが、特に、ごみの発生や資源の消費をもともと減らす「**Reduce(リデュース)**」が一番重要です。まずは、「ごみになるものを買わない。もらわない」、「長く使える製品を買う」などを心掛けましょう。

## 10月は食品ロス削減月間です!

食品ロスとは、本来食べられるのに捨てられてしまう食べ物のことです。日本では、毎年約472万トンの食品ロスが発生していると試算されています。これは一人当たり換算すると毎日おにぎり一個分(103グラム)を捨てている計算です。

また、生ごみは家庭から出る可燃ごみの約4割を占めています。食品ロス削減のために、できることから始めましょう。

### ◆買い物をするときは…

- 行く前に冷蔵庫の中身を確認しましょう。
- 必要な分だけ買いましょう。
- 手前に陳列されている食品を選びましょう。

### ◆料理をするときは…

- 食材は無駄なく使いましょう。
- 食材の皮は薄くむくように心掛けましょう。
- 食べきれぬ量の料理を作りましょう。

問合せ 環境保全課(6階) ☎(20)1504 FAX(20)1604